

独立行政法人統計センター評価に関する有識者会議[議事要旨]

1 日 時:令和5年7月31日(月) 16:00~17:00

2 場 所:総務省第2庁舎 7階中会議室(オンライン併用)

3 出席者:(有識者)廣松毅(座長)、加藤久和、小林稔、(オンライン:岩下真理、津谷典子)(敬称略)

(統計局)岩佐統計局長、上田総務課長、森本統括補佐、和氣課長補佐、事務局

(統計センター):稲垣経営審議役、木村総務部長、江原経営企画課長

(陪席:岩井課長代理、武山係長)

- 4 議 題:(1) 令和4年度に係る業務の実績に関する評価(案)について
(2) 平成30年度~令和4年度に係る業務運営の効率化に関する事項の評価(案)について
(3) 総合評定(案)について
(4) その他

5 議事概要:

(1) 総務省統計局から令和4年度に係る業務の実績に関する主務大臣による評価(案)の説明が行われた。

(2) 総務省統計局から平成30年度~令和4年度に係る業務運営の効率化に関する主務大臣による評価(案)の説明が行われた。

(3) 質疑が行われた後、総務省統計局から総合評定(案)について、説明が行われ、項目別評定及び総合評定ともに妥当であるとの意見で一致した。

(4) 有識者からの主な意見等は以下のとおり。

○各府省支援業務について、各府省の体制や担当する職員の経験や専門性に差異があることは問題であるが、各府省への支援が評価されているのは良いことだと思う。今後も統計局や政策統括官室と協力して役割を果たしていただきたい。

○e-Statは毎年改善して非常に良いサイトになっており、より高い評価でも良いものと思っている。DB形式のデータの拡充については、各府省への働きかけや、支援、指導を今後もお願いしたい。

○効率化について、単純に人員、時間の削減のみで評価して良いのかということについて今後議論していただきたい。統計の時代と言われながら、統計業務に従事する職員数が減っていることは懸念される。また、調査業務においても内容が多様化しており、スピード

が求められる事案が発生することもあるといったことを評価しても良いのではないか。
○統計センターを視察した際、女性が非常に多いと感じた。人材育成の取組のA評価は妥当と思う。多様な人材を育成することが今後重要になってくると思っている。採用については、これまでの採用方法をベースとしながらも、より専門性の高い人材を採用する方法として、中途採用などの採用方法も検討していったら良いかと思う。

以 上